

学園で行う



各種評価について



うめだ・あけぼの学園

うめだ・あけぼの学園では、お子さんの状態を正しく把握し、ご家庭や療育で活用していくために、様々な職種が、いろいろな評価を行っております。

学園で行っている評価にどのような物があるのか、どのようなお子さんが対象になるのか、評価によってどのようなことがわかるのかといったことを、ご紹介いたします。

なお、評価希望のある方は、担当者にお申し出下さい。

<発達検査や知能検査>

発達検査や知能検査はお子さん達の状態を保護者の方や療育担当者と共に理解し、支援の方向性を一緒に考えるために行います。検査者は、検査課題に取り組むお子さんの様子、検査の課題について「できた」「できない」というだけではなく、どのようにできたか、どのように失敗したか、どのようにすればできるようになるのかということを見せていただきます。そして、「お子さんの発達の長所」「今伸びつつあるところ」「支援が必要なところ」「自閉性の有無やその程度」を明らかにしていきます。普段のご家庭での様子なども教えて頂くことで、より正確にお子さんの状態を把握することができると思います。お子さんのことで気になることがありましたら、遠慮なくご質問ください。お子さんの発達の状態によって「遠城寺式乳幼児分析的発達検査」「新版K式発達検査2001」「K-ABC心理教育バッテリー」「WISC-III」「CARS」「ASQ」など実施します。

<食事評価>



食事評価は、食べる時のお子さんの口や舌の動かし方・姿勢・道具の使用方法の様子を見せていただいたり、偏食のあるお子さんには食事の様子をチェック表に記入していただいたりして、保護者の方や関係職員と一緒に確認しながら、今後に向けたアドバイスを伝えていくために行います。



<ST（言語）評価>

ST評価は言語発達の様子や、発音や吃りが気になるお子さん、難聴のお子さんへの評価を行います。お子さんの発達の様子（2～3語文の表出が可能）に応じて、「構音検査」や「ITPA」などを使用します。「構音検査」は発音の様子をみるもので、「ITPA」は言語発達のバランスを見るものです。



<AAC（拡大・代替コミュニケーション）評価>

AAC評価は、ことばを話し始める前にどのようなコミュニケーション手段が使用していただけるかを評価したり、理解はしているが、ことばがまだ少ないお子さんへの補助的な手段や、AAC機器を使用して表出の拡大や自発性を目指すことなどを検討するための評価です。

